

青葉山と薬草



薬草ゴシュユの群生地

～有用植物を育む
青葉山の豊かさとは～



若狭富士として親しまれている青葉山には、日本の北限と南限の動植物が多く、多様な生き物が生息しています。青葉山麓研究所では、青葉山固有植物のオオキンレイカや自生する薬草の人工栽培を行い、地域の活性化を目指しながら、青葉山周辺の生態系や文化、信仰なども改めて研究しています。青葉山に見られる薬草などの有用植物や薬膳料理としての利用など、青葉山の豊かな自然とその恵みについて、お話します。

(写真:高浜町日引区から望む青葉山 鋸谷氏提供)



おが や しげる

講師 青葉山麓研究所 所長 **鋸谷 茂氏**

12月2日(水) 14:00～15:30

会場:福井県生活学習館(ユー・アイふくい)

要申込

参加無料

先着60名(どなたでも)

事前申し込みがない場合、入場できません。

お問合せ・お申込み (締め切り:12月1日まで)

福井ライフ・アカデミー本部(事務局 県生涯学習センター)
〒918-8135 福井市下六条町14-1 福井県生活学習館(ユー・アイふくい)内
TEL 0776-41-4206 FAX 0776-41-4201
メール f-manabi@pref.fukui.lg.jp HP 「まなびいネットふくい」で検索



◆ 発熱や咳等の風邪症状など、体調不良がみられる場合は、参加をご遠慮ください

◆ 必ずマスクの着用をお願いします。

◆ 講座中は座席の間隔を十分にとり、一定時間ごとの換気をおこないます。

